

# 財政状況のあらまし 平成28年度上半期

市の財政状況について、地方自治法および市条例に基づき毎年2回公表を行っています。今回は平成28年度上半期の執行状況や市の財産、借入金などの状況をお知らせします。なお、数値は平成28年9月30日現在のものです。

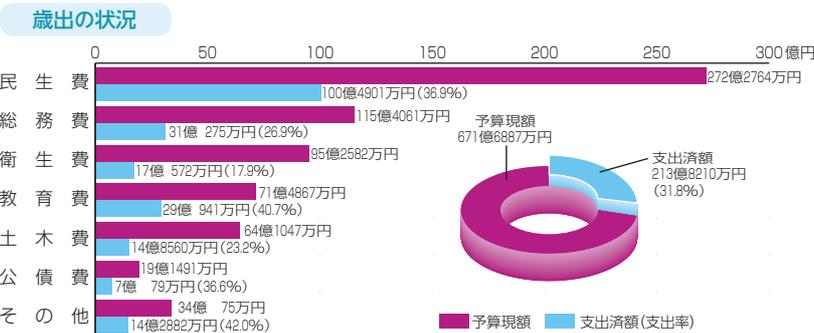
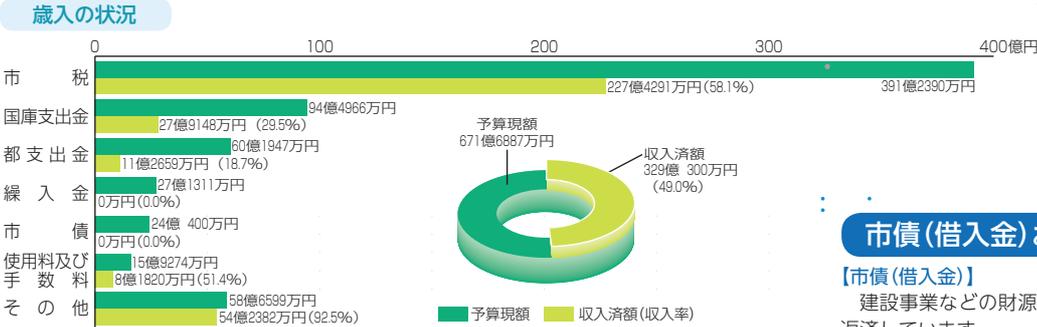
## 一般会計の執行状況

平成28年度の一般会計予算は、当初667億6600万円でしたが、前年度からの繰越予算と28年度の補正予算により、予算現額は**671億6887万円**（前年度同期比2.9%増）となりました。歳入の収入済額は、**329億300万円**で、予算現額に対する収入率は49.0%（前年度同期53.1%）です。このうち、市の主要な財源である市税収入は、**227億4291万円**（前年度同期比0.7%増）で、予算現額に対する収入率は58.1%（前年度同期58.6%）です。歳出の支出済額は**213億8210万円**（前年度同期比2.0%増）で、予算現額に対する支出率は31.8%（前年度同期32.1%）となっています。

歳入、歳出（目的別）の執行状況の内訳は、下図のとおりです。

	予算現額	収入済額 (収入率)
市民税	13万6744円	7万1045円 (52.0%)
固定資産税	10万6715円	6万9306円 (64.9%)
都市計画税	1万7397円	1万 870円 (62.5%)
市たばこ税	6604円	2823円 (42.7%)
事業所税	4198円	3725円 (88.7%)
軽自動車税	293円	317円 (108.2%)
合計	27万1951円	15万8086円 (58.1%)

※収入率は予算現額に対するもので徴収率とは異なります



## 補正予算の状況

一般会計では、3回の補正を行い、新たな認証保育所2園の開設準備経費、東京都知事選挙の執行、B型肝炎予防接種の法定化への対応、大野田小学校の児童の増加に対応するための増築棟工事の経費など、3億2906万円を増額しました。主な補正項目は次のとおりです。

補正予算の主なもの	補正額
新規認証保育所（ポピンズナーサリースクール武蔵境〈仮称〉）／ピノキオ幼児舎吉祥寺園〈仮称〉開設準備経費	6000万円
東京都知事選挙の管理執行	5358万円
マイナンバーカード交付臨時窓口業務	1806万円
臨時福祉給付金、年金生活者等支援臨時福祉給付金	1053万円
学童クラブ増築経費	2947万円
B型肝炎予防接種経費	2971万円
大野田小学校増築棟工事	5863万円
吉祥寺図書館リニューアル計画改修実施設計業務委託	1691万円
総合体育館メインアリーナ屋上防水改修工事	2806万円

## 市有財産の状況

市の所有する財産は次のとおりです。

不動産	土地	60万1615m <sup>2</sup>
	建物	32万8534m <sup>2</sup>
有価証券	株券	4150万円
	出資証券	5万円

## 市債（借入金）および基金（貯金）の状況

### 【市債（借入金）】

建設事業などの財源として資金を借り入れ、公債費として返済しています。

借入予定および返済の状況、借入残高は次のとおりです。

	借入残高 (年度当初)	上半期の 返済元金	上半期の 借入額	借入残高 (上期末)	28年度 借入予定額*
一般会計	172億3513万円	6億2244万円		166億1269万円	24億 400万円
業会計	80億7410万円	9143万円		79億8267万円	10億6288万円
発土地社開	82億3826万円	6961万円	6億1260万円	87億8125万円	19億2910万円
合計	335億4749万円	7億8348万円	6億1260万円	333億7661万円	53億9598万円

\*土地開発公社は上半期の借入額も含む

### 【基金（貯金）】

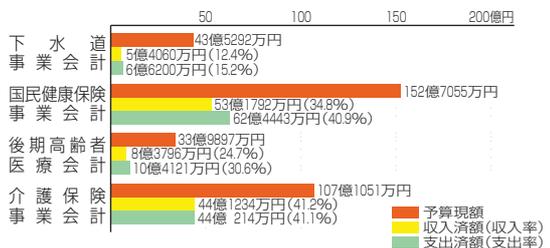
年度間の財源調整、公共施設や学校施設、公園整備などのために、目的別に基金を設置し、毎年積み立てを行っています。

基金の状況は次のとおりです。

基金名(目的)	基金残高
財政調整基金 (財源が不足する場合のための基金)	60億9816万円
公共施設整備基金 (公共施設の建設や大規模改修のための基金)	130億5609万円
学校施設整備基金 (学校の建設や大規模改修のための基金)	99億2189万円
吉祥寺まじづくり基金 (吉祥寺園の整備のための基金)	35億1499万円
公園緑化基金 (公園用地の確保や緑化推進のための基金)	42億9341万円
下水道事業基金 (下水道事業のための基金)	4億2210万円
その他	18億9039万円
合計	391億9703万円

## 特別会計の執行状況

平成28年度の特別会計の執行状況は下図のとおりです。支出済額が収入済額を超えている会計については、不足分は一般会計の運用資金を充てています。



## 水道事業会計の執行状況

水道事業は、地方公営企業法により独立採算性が定められ、一般会計とは別に運営しています。

### 収益的収入および支出

区分	収入		
	予算現額	収入済額	収入率
水道事業収益	37億5652万円	14億4137万円	38.4%
営業収益	36億5740万円	14億4096万円	39.4%
営業外収益	9912万円	41万円	0.4%
特別利益	0万円	0万円	0.0%

区分	支出		
	予算現額	支出済額	支出率
水道事業費	36億2033万円	11億1736万円	30.9%
営業費用	34億8668万円	10億6818万円	30.6%
営業外費用	1億3065万円	4918万円	37.6%
特別損失	0万円	0万円	0.0%
予備費	300万円	0万円	0.0%

### 資本的収入および支出

区分	収入		
	予算現額	収入済額	収入率
資本的収入	3582万円	1023万円	28.6%
固定資産売却金	0万円	0万円	0.0%
負担金	3582万円	1023万円	28.6%

区分	支出		
	予算現額	支出済額	支出率
資本的支出	9億 16万円	2億3162万円	25.7%
建設改良費	6億 482万円	8546万円	14.1%
企業債償還金	2億9434万円	1億4616万円	49.7%
予備費	100万円	0万円	0.0%

この特集に関するお問い合わせは、財政課 ☎60-1803へ